

## 2026年度 人間ドック基本検査項目（被保険者用）

検査区分	2026年度実施項目	備考
身体計測・問診	身長・体重・肥満指数（BMI） 打診・聴診・触診 腹囲・問診（特定健診必須問診項目を含む）	BMI（ボディマス指数）は標準体重のことをいいます。BMIが高くなると必然的に肥満度は高くなり、生活習慣病にかかりやすくなります。
生体検査	血圧測定・心電図・聴力検査 視力検査・眼底検査・眼圧検査 肺機能検査	心電図は不整脈や狭心症、心筋梗塞、心臓病の診断指標になります。眼底・眼圧検査では白内障、緑内障のほか動脈硬化や糖尿病性網膜症がわかります。肺機能検査では肺活量・肺活力を調べ、呼吸機能の疾患を調べます。
血液学	赤血球数・白血球数・血色素量 ヘマトクリット・血小板数・MCV	赤血球・血色素・ヘマトクリットは貧血を調べる検査です。白血球は主に感染をしているときに増加します。
生化学	GOT・GPT・γ-GTP 総蛋白・ALP・コリンエステラーゼ 総コレステロール・LDL-コレステロール HDL-コレステロール・中性脂肪 クレアチニン・尿酸・eGFR 総ビリルビン・直接ビリルビン	血液生化学では、血液中に混じるたんぱく質・糖質・酵素などの成分を検査します。特に内臓関係を調べる場合に威力を発揮し、成人病の早期発見に役立っています。HDL-コレステロールは善玉コレステロールと呼ばれ動脈硬化を防ぐ働きがあります。また、eGFR値は腎臓がどれだけ機能しているかを推定する値です。クレアチニンを測定することで計算によって割り出されます。
糖尿病	空腹時血糖 HbA1c（NGSP値）	HbA1c（ヘムoglobin A1c）は約2ヶ月間の平均的な血糖の状態が把握できます。
免疫学	CRP	CRPは炎症を起こしているときに値は上昇します。
尿・便	蛋白・尿糖・尿潜血・沈渣 便潜血反応	尿沈渣は、尿中の赤血球・白血球・上皮細胞・塩類などの有無や量を調べます。便潜血は消化管からの出血の有無を調べ、陽性なら大腸の詳しい検査が必要になります。
画像診断	胸部X線 胃部X線もしくは胃部内視鏡	胃部X線（胃バリウム検査）は胃・十二指腸の疾患の診断にとどまらず、他の腹腔内の臓器への影響をみることができます。また、胃カメラは食道・胃・十二指腸の粘膜を観察することで、ガンやポリープ、潰瘍、びらんなどの診断が可能です。
消化器	腹部エコー	腹部エコーは肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓等の疾患を把握するの適しています。

人間ドックは労働安全衛生法に定める健康診断を兼ねて実施しています。

下線の検査項目は労働安全衛生法で義務付けられた検査項目です。

### <本年度のオプション検査項目の健保負担について>

**オプション検査のうち男性向けに前立腺がん（PSA）検査、女性向けに乳がん（マンモグラフィー及び乳房エコー）検査を無料で受診できます。**

被保険者・被扶養者ともに人間ドック基本項目が上記の項目と異なる医療機関があります。特に**被扶養者**の方は健康保険組合の補助額が被保険者と異なるため、人間ドック以外の健診コース（例えば生活習慣病健診）を提供している医療機関もあります。実施されている検査項目を詳しくお知りになりたい方は各医療機関に直接お問い合わせください。

既往歴・現病歴によっては受けられない検査がありますので、事前に主治医に確認してください。